

みずほCustomer Desk Report 2022/08/18 号 (As of 2022/08/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.34
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.30	1.0169	136.64	1.2097	0.7020
SYD-NY High	135.50	1.0201	137.88	1.2143	0.7024
SYD-NY Low	133.91	1.0146	136.28	1.2028	0.6912
NY 5:00 PM	135.10	1.0178	137.47	1.2050	0.6937
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,980.32	▲ 171.69	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,938.12	▲ 164.43	日本10年債	0.1800%	0.0100%
S&P	4,274.04	▲ 31.16	米国2年債	3.2838%	0.0170%
日経平均	29,222.77	353.86	米国5年債	3.0512%	0.0905%
TOPIX	2,006.99	25.03	米国10年債	2.9013%	0.0945%
シカゴ日経先物	29,005.00	35.00	独10年債	1.0765%	0.1000%
ロンドンFT	7,515.75	▲ 20.31	英10年債	2.2860%	0.1635%
DAX	13,626.71	▲ 283.41	豪10年債	3.2910%	0.0390%
ハンセン指数	19,922.45	91.93	USDJPY 1M Vol	10.94%	0.51%
上海総合	3,292.53	14.64	USDJPY 3M Vol	10.73%	0.44%
NY金	1,776.70	▲ 13.00	USDJPY 6M Vol	10.31%	0.39%
WTI	88.11	1.58	USDJPY 1M 25RR	▲0.09%	Yen Call Over
CRB指数	288.87	1.20	EURJPY 3M Vol	11.91%	0.23%
ドルインデックス	106.57	0.07	EURJPY 6M Vol	11.62%	0.18%

東京	東京時間のドル円は134.30レベルでオープン。材料の乏しい中で一時134.43まで上昇するも長くは続かず、その後は上値の重い展開に133.91と134円割れも示現。しかし東京時間終盤に買いに転じると134.51レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、134.51レベルでオープン。本日はほぼ一本調子で上昇。135.20円まで買われ135.15レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2107レベルでオープン。朝方英7月消費者物価指数が前年比10.1%とおよそ40年ぶりに2桁増となったがポンド買いは続かず1.2080レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台半ばでオープン。東京時間では133.91まで下押しするも、134円ちょうど付近では買い支えられ、134円台半ばまで再び反発。その後、米金利上昇を眺めながらの買いが強まり前日高値(134.68)を上抜け134.80近辺まで上昇。その後、小幅反落するも、買いが再び強まり135.20をつけ、135.15レベルでNYオープン。朝方は米7月小売売上が注目されるものの、結果発表前に米金利上昇とともに買い優勢となり、135.30近辺まで上昇。その後、小売売上高は予想を下回るも、コア指数が予想を上回っており、135.38まで続伸するが、その後は利益確定売りに押され一時135円割れとなる。売りが一巡すると高値を135.50まで更新するが、一目均衡表雲の上限が控えるこの水準がレジスタンスとして意識される中、その後は伸び悩む。午後は高値圏で小動きが続き、FOMC議事録の公表待ちとなる。14時に発表されたFOMC議事録では「必要以上に政策を引き締めるリスクを多くのメンバーが認識」、「いずれ利上げペースを減速すると認識」などとハ派色の強い内容が意識されたことから米金利低下・ドル売りで反応し、134.79まで反落。終盤はじりじりと買い戻され、結局、135.10レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.0170近辺スタート。東京時間では小動きが続き、欧州時間では米金利上昇を意識したドル買いとユーロ円の上昇から波及するユーロ買いが交錯する中、もみ合いが続き、1.0168レベルでNYオープン。朝方はドル買い優勢で1.0146まで下落。その後、ユーロクロスの上昇もあいまって1.0199まで反発する場面もあったが、滞空時間は短く往って来い。午後はFOMC議事録にドル売りで反応し1.0201まで高値更新。終盤は買いが一巡し、反落後、1.0178レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・多川

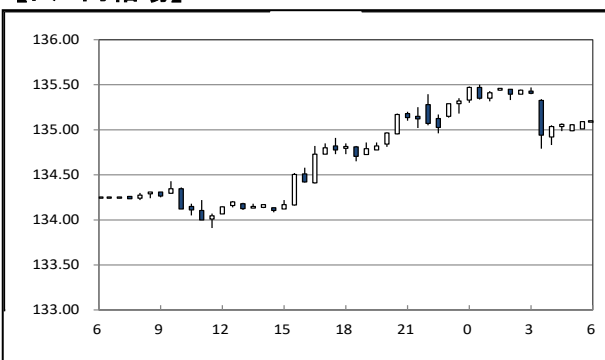
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月17日	08:50	日 貿易収支	7月 -¥1436.8b	-¥1362.5b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	7月 0.6%/10.1%	0.4%/9.8%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	7月 6.2%	5.9%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.6%/3.9%	0.7%/4.0%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	7月 0.0%	0.1%
8月18日	03:00	米 FOMC議事要旨	「いずれは利上げペースを減速させる必要性で合意」	

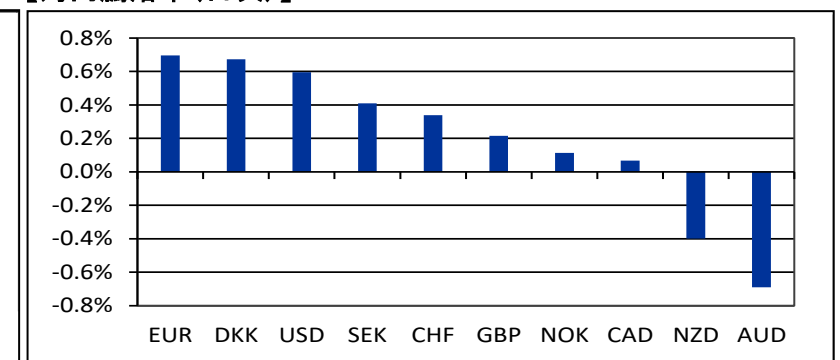
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月18日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	7月 8.9%/0.1%	8.6%/0.1%
	18:00	欧 コアCPI・確報	7月 4.0%	4.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8月 264k	262k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	8月 -5.0	-12.3
	23:00	米 中古住宅販売件数	7月 4.87m	5.12m
8月19日	02:20	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-136.00	1.0100-1.0300	136.00-139.00

【マーケット・インプレッション】

昨晚の海外市場では、ドル/円は上昇した。欧州時間に入ると、米10年債利回りの上昇を受けたドル買いが優勢となり135円台前半まで上値を伸ばした。NY時間に入り、米7月・小売売上高が予想に反して一部良好な結果となったことで利上げ継続に対する安心感が広がりドル買いが継続、ドル/円は一時135円台半ばまで上伸した。しかし、終盤には注目だった7月のFOMC議事録において多くの高官が必要以上の引き締めを実施するリスクを指摘していることや、いずれ利上げペースを減速することを予想していることが判明しドルの上値は押さえられ、ドル/円は134円台後半まで反落した。

本日のドル/円相場は上値重い推移を予想。昨晚のFOMC議事録にて米利上げの行き過ぎや終焉が意識されやすくなったと考えており、ドルは上値重く推移するだろう。また、本日発表予定の米・新規失業保険申請件数や米・7月中古住宅販売では前回比悪い結果が予想されており、予想通りとなれば過度な利上げによる景気減速懸念がドル/円を押し下げるのではないかと。